



投信ラインナップ分析サービス

powered by Fund Monitor®

投信ラインナップ整備・モニタリングに!
独自の分析と目的に応じたコメントをご提供



こんな時に 投信ラインナップ分析サービス



- 投信の数を絞り込んだ厳選ラインナップを作りたい
- 顧客の投資目的別のラインナップを作りたい
- 多くなりすぎた取扱いファンドを整理したい
- 既存ラインナップ充実のため、追加・入れ替えをしたい



投信ラインナップ分析サービス の特長

1

独自の分析手法

リスク水準に着目した当社独自の手法で、
金融機関様の投信ラインナップを分析

2

ファンド特性を視覚化

トラックレコードを多角的に分析し、
ファンド特性を視覚化

3

的確な分析コメント

投信販売戦略やラインナップ整備など、
金融機関様の目的に応じた分析コメントをご提供

4

分析データも提供

金融機関様での分析にご利用いただける、
全公募株式のデータをExcel形式で提供



投信ラインナップ分析サービス のフロー

ご契約

キックオフ

一次分析

一次分析報告

二次分析

最終報告



納期の目安：分析する「データの基準日」から、約1か月（ファンド数によって変動します）

「ファンド分類」重視の投信ラインナップの課題

「ファンド分類」は、投信協会、ファンド評価会社、販売金融機関などにより異なり正解がない

- 「ファンド分類」を細分化しそうるととりそろえるファンド数が増加する
- 大雑把な「ファンド分類」では、顧客のニーズに十分に応えられない可能性も

リスク水準とファンド分類の2軸で投信ラインナップの全体像を捉える！

ローリスクからハイリスクまで

幅広く投信を取り揃え、お客様の多様な投資ニーズにお応えできるラインナップへ

多角的に分析し、ファンド特性を可視化

多角的分析の必要性

ファンド分類とリスク水準が同じでも、ファンド特性は異なる場合がある

適切な投信ラインナップ整備には収益率、標準偏差だけでなく、様々な角度から分析しファンド特性を把握することが重要

各ファンドの特性を明確にし、最適な投信ラインナップを検討！

- 類似ファンドに偏っていいないか？
- 特性の異なるファンドがラインナップされているか？
- 他に候補ファンドがあるか？

的確な分析コメント

金融機関様のニーズに合わせて、分析結果をご活用いただけるようサポート

- 金融機関の目的に応じた分析コメントを提供
- 経営陣への報告用「マネジメントサマリー」を提供
- 最終報告時に、分析結果の説明会を実施



Excel形式で分析データをご提供

国内公募株式投信全ファンド※のデータを提供

- 編集・加工が容易なExcel形式のデータ
→ 金融機関様でのさらなる分析に
- 国内公募株式投信 全ファンドのデータ
→ 他社ファンドの状況分析、新規取り扱いファンドのご検討に

データ項目の概要（項目数）

基本属性	19項目
分類	10項目
コスト	8項目
運用実績	16項目
運用実績順位	15項目

※ ETF、マネープール型、単位型を除く。ご希望により、通貨選型、カバードコール型等を除くこともできます。

※ 提供する各種レポート、データ等のご利用は、金融機関様内に限定させていただきます。お客様への配布等はお控えください。

